

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道8号 <small>うおつ なめりかわ</small> 魚津滑川バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道 国土交通省 北陸地方整備局
<b>起終点</b> 自： <small>とやまけんうおつ しずみよし</small> 富山県魚津市住吉 至： <small>とやまけんなめりかわ ししいなづみ</small> 富山県滑川市稲泉		延長 7.4km
<b>事業概要</b> 「アクセス時間の短縮による物流の活性化」、「災害に強いネットワークの形成」、「第三次医療施設へのアクセス向上」などを目的とした、延長7.4kmの4車線バイパスの整備を行うものである。		
H元年度事業化		H元年度都市計画決定
全体事業費 360億円		事業進捗率 78%
計画交通量 30,800～34,500台/日		供用済延長 7.4km
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 1.2  (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 74/461億円 (事業費：58/429億円) (維持管理費：16/32億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 237/551億円 (走行時間短縮便益：201/398億円) (走行経費減少便益：31/117億円) (交通事故減少便益：4.8/36億円)
基準年 平成20年度		
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.9～3.4（交通量±10%） 事業期間変動：B/C=3.0～3.3（事業期間±20%） 事業費変動：B/C=2.9～3.5（事業費±10%）		
<b>事業の効果等</b> ・現道等の渋滞損失時間を削減・新幹線駅、第三種空港、特定重要港湾、主要な観光地へのアクセス向上・三次医療施設へのアクセス向上・日常活動圏中心都市へのアクセス向上・緊急輸送道路の代替路線を形成		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・魚津市、滑川市、滑川商工会議所、魚津商工会議所、朝日滑川間国道8号沿線議員連盟、朝日滑川間国道バイパス建設促進期成同盟会、北信越市議会議長会、富山県議会が早期整備を要望		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> バイパスの沿線や内陸部に、新川地方の文化交流活動拠点となる新川文化ホール、新たな企業活動拠点となる魚津西部企業団地の整備、工場の新設・増設等		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・用地買収は全て完了 ・魚津市住吉～滑川市稲泉のL=7.4kmについては全線暫定2車線整備済み ・魚津市住吉～同市出のL=1.9kmについては4車線整備済み ・残り魚津市出～滑川市稲泉のL=5.5kmの4車線化		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・平成20年代後半の全線完成4車線供用を目的		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・新技術、プレキャスト製品の積極的活用、再生材を利用した舗装・路盤工の活用等により、コスト縮減を考慮している。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。	
<b>事業概要図</b>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。